

群馬県民 200 万人の健康を支える「公衆衛生医師」ってなに？

医師には、3つの道があります。

1つ目は医療機関で働く「臨床医師」、2つ目は大学等で研究を行う「研究医師」。そして3つ目が行政機関等で働く「公衆衛生医師」です。

平成26年度から、群馬県と群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野が協力して、実力のある公衆衛生医師を育成する取組を開始しました。

今回は、その取組内容をご紹介しますとともに、群馬県内の保健所で働く現役の公衆衛生医師が、仕事の魅力ややりがいをお話する第3回目の機会です。

是非、お気軽に、ご参加ください。

第3弾



- ◆ 日 時 平成27年11月25日（水）16：30～17：30
- ◆ 場 所 群馬大学医学部附属病院 アメニティモール2階 アメニティー講義室
- ◆ 対 象 医学部生、臨床研修医、公衆衛生に関心のある医師の方
- ◆ 内 容
開催にあたって
群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授 小山 洋

公衆衛生医師育成プロジェクトについて
群馬県健康福祉部健康福祉課 次長 江原 昭二

公衆衛生医師からのメッセージ
群馬県安中保健福祉事務所医監（保健所長）
兼吾妻保健福祉事務所医監（保健所長） 武智 浩之
群馬県渋川保健福祉事務所 医師 近藤 泰之

◆ 意見交換会

引き続き、公衆衛生学教室集会室にて意見交換会を開催します。公衆衛生医師について、あるいは、プロジェクトについて関心のある方は、お誘い合わせの上、気軽に参加してください。

◆ お問い合わせ

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学 教授 小山 洋 TEL:027-220-8010

